

発行所 藤枝
中学校区
学校運営協
議会事務局

今年度、組織の改編を行い、女性を含む地域の有識者新任4名を迎え、5月30日に本年度最初の学校運営協議会が開催されました。藤枝中学校全学年公開の授業参観後に開かれた協議会は、温かい雰囲気と地域の子どもたちのために活動しようとする意欲に満ちていました。

古くから地元の
人々に親しまれて
静かに佇むこの神
社は、鎌倉時代には
市がたち、多くの
人々で賑わいまし
た。瀬戸川の海運
を活かして運ばれ
てくる海産物や瀬
戸谷街道を通り
集まる山の物など
が集積され、鬼岩
寺の門前に賑わい

生みました。神社の側の細い道は、鎌倉時代の東海道でした。この道を東に進めば、源頼朝の祖父にあたる源義家が訪れた若王子神社や、熊谷次郎直実創建の蓮生寺、さらに東に進めば、6代將軍に就くべく京から鎌倉へ向かった宗尊親王にまつわる左車神社があります。

学校運営協議会の
主な役割の一つが、校
長が作成する学校運
営の基本方針を承認
する作業です。各小
中学校からグランドデ
ザインをもとに説明が
ありました。各校とも
9年間で子どもたち
を育てようとするこ
とや、『つなぐ』とい
う言葉をキーワードに
していることが印象
的でした。

藤枝中学校

重点目標を『自ら』に定め、豊かな心の育成・確かな学力の育成・安心安全な学校づくりを努めていく。その際、人をつなぐ、教育をつなぐ、家庭・地域とつなぐという点を重視し信頼と期待に応える学校を築く。

重点目標を『自分も大切(自立)・相手も大切(共生)』思いをつないで育ち合う子』と定め、確かな学びと共生の学びを高める学校、誰にも居場所があり、安心安全な学校づくりに取り組む。

藤枝中央小学校

重点目標を『三方よしを實行する子』と定め、自分よし、相手よし、みんなよしを通して学校教育目標である「たくましく（自立）なかよく（共生）」の達成に努力していく。

稲葉小学校

重点目標を『自分を大事に・人を大事に・稲葉を大事に』と定め、自分を高めるために一生懸命取り組む、粘り強くやりぬく稲葉の子、人に思いやりをもつて接する、優しく接する稲葉の子、ふるさと「稲葉」を知り、ふるさと「稲葉」を語れる稲葉の子の育成に努める。

4校の今年度の学校運営方針はすべて承認されたことをここに報告します。



コミュニティ・スクールについて

各委員からの機知に富んだ様々な意見を受けて、これまでの活動を継続していくことを基本としますが、改めて次のような事を確認しました。

①地域の資源（人・モノ・事）のポテンシャルを引き出し、特に人材発掘と活用のため、具体的に動くこと。

②地域学校協働本部（幅広い地域住民や団体等の参画により形成されたネットワーク、サポーターズクラブ）との一層の有機的連携を図っていくこと。

③激動する社会に対応するため、グローバルな視点、今日的課題である、人権、平和、民主主義、環境（SDGS）、持続可能な社会、高度情報化（AI、デジタル化）なども意識した総合的な学びを保障していくこと。

（子どもたちと地域で、どう一緒に創っていくのか）

④コミュニケーション・スクールも、つきつめれば、子どもたちの利益、子どもたちのためであるということを保れずに忘れないこと。

今年もよろしく願
いします。